日本保険学会 平成 23 年度第 3 回理事会議事録

日時：平成23年9月16日（金）17：00～18：00

場所：損保会館

1. 審議事項

(1) 入退会者

江澤理事長より 入会者11名、退会者1名の説明があり、異議なく了承した。

(2) 平成23年度大会関係

事務局より以下のとおり報告があり特に異議なく了承した。

- ・ 本日が申込締切日であるが 今朝までに137名からの申し込みを受け付けた。今後、週明けまでに多くの申込みがなされるものと思われる。
- ・ すべての報告者から「報告要旨」の提出があり、全件学会ホームページに掲載済みである。
- ・ 「大会アンケート」ならびに「シンポジウム」「共通論題」の質問受付については、昨年と同様の方法で実施したい。

(3) 平成23年度総会・評議員会関連

理事長より 総会ならびに評議員会の議題につき、提案があった。評議員会については活性化を図るため、今年度は、昨年までの30分から50分に延長する。なお、今年初めて実施する「日本保険学会賞」につき、以下の論議があった。

- ・ 総会の際に、受賞者にスピーチをさせたらどうか
全体の所要時間をもとに実施可能であるか、事務局にて検討する。
- ・ 学会賞の決定結果は、学会のホームページでも周知すべきである。
反対意見なく、実施することに決定した。
- ・ せっかくの受賞論文が全文読めるように学会のホームページに掲載したらどうか。
もともと保険学会賞の対象論文は、「保険学雑誌」「損害保険研究」「生命保険論集」の3誌に掲載した論文が受賞対象となるので、保険学会のみで決められることではない。
今年は、たまたま受賞論文が2編とも、保険学雑誌に掲載されたものであるので、保険学会で判断できる話ではある。とはいえ、論文のHPでの全文公開は雑誌発刊後2年経過したものから順次行うことを、昨年決定したばかりであることももあり、その可否を次回の編集委員会で検討する。

(4) 関東部会：東日本大震災1周年シンポジウム

甘利関東部会長より、来年3月10日のシンポジウムについての具体的な内容説明があった。今回は実務家からの報告を中心としたシンポジウムとし、来年10月の全国

大会でこの問題を再度とりあげて理論的な位置づけをしたい、とのことであった。あわせて、事務局よりこのシンポジウムにかかわる経費（最大限30万円）を学会経常費から支出したいとの学会年間予算変更に係る提案があり、異議なく承認した。なお、同様のシンポジウムを関西部会および九州支部で行う場合、関東部会同様、学会からの補助を求めるには、いつ頃までに決定する必要があるか、との質問があった。事務局より、今月末までに連絡をいただければ、再度、学会予算案修正の検討が可能であるとの回答があった。

(補足：その後、関西部会、九州支部より、いずれもシンポジウムの実施については未定であるが仮に実施するとしても来年度になる、との回答を得たので、本年度の予算案の修正は行わないこととした。)

(5) 平成24年度大会「シンポジウム」「共通論題」テーマ

理事長より平成24年度大会「シンポジウム」「共通論題」テーマについて理事、監事、評議員を対象とするアンケートを行ったとして、その結果につき、披露があった。来月より開始される新年度の大会企画部会（新部長：山野理事）では、このアンケートも参考にしつつ、来年度大会「シンポジウム」「共通論題」を決定いただくことになる。

2. 報告事項

(1) 委員会等報告

国際交流委員会

中林評議員（APRIA2012東京大会事務局長）より、「大倉評議員参加報告書」に基づき、7月31日 8月3日に明治大学において開催されたAPRIA東京大会の実施状況説明並びに、学会からの支援につき、感謝の表明があった。

企画委員会

理事長より、本日の企画委員会において、「企画委員会規則」(案)についての3回目の論議を行い 企画委員会としての成案を得たので次回理事会に提案したい、また学会活性化の論議として、平成19年発表の「将来構想委員会報告」のフォローアップを始めたとの報告があった。

関東部会

甘利部長より、9月9日に開催された関東部会通算200回記念部会の様子につき、実施報告があった。当日は200回を記念して懇親会が行なわれ、また部会の実施記録をまとめた小冊子を配布した。(小冊子は、当日理事会出席の理事にも配布された。)

関西部会

井口部長より9月の部会内容の紹介があった。また、関西部会の活動を長年支えてきた関西所在の保険会社に対し、理事長名での感謝状を贈る予定であることが報告された。

(11月9日に江澤理事長が、富士火災海上保険株式会社の横山社長に感謝状を贈った。)

編集委員会

中浜委員長より、大会、部会報告の「保険学雑誌」掲載状況につき 報告があった。

以 上